

日本スポーツマスターズ 2025 愛媛大会 自転車競技会【ロード・レース】

【テクニカルガイド】



JAPAN GAMES MASTERS



Ver.250807からの修正箇所:

第7条 飲料水の補給、第10条 順位付け

愛媛県イメージアップキャラクター

みきゃん 許諾番号:707005

【開催日】2025 年9月7日(日)

【会 場】愛媛県総合運動公園特設コース(1 周 1.98km)

【主 催】公益財団法人日本スポーツ協会／愛媛県／公益財団法人愛媛県スポーツ協会／
公益財団法人日本自転車競技連盟／松山市

【主 幹】一般社団法人愛媛県自転車競技連盟

1

1.スケジュール

9月6日(土)

開 始	終 了	所用時間	イベント	備 考
6:30			東西入りロゲート開門	
9:00			県内役員集合・会場設営	総合運動公園体育館 会議室
13:00	14:00	1:00	主要役員打合せ	//
15:00	16:45	1:45	ライセンスコントロール	総合運動公園体育館 研修室
~	15:30		県外役員受付・集合	//
15:30	16:30	1:00	役員会議	総合運動公園体育館 会議室
17:00	17:30	0:30	チーム代表者・競技者会議	//

9月7日(日)

開始	終了	所用時間	イベント		備 考
6:00			選手・監督・競技役員駐車場開門		
6:00	7:15	1:15	コース確認		
7:30	8:00		県内役員・競技補助員集合		大会本部
8:00	8:30	0:30	ライセンスコントロール		//
8:00			県外役員集合		//
8:00	8:30	0:30	役員会議		//
8:50	9:40	0:50	試 走(1)		特設コース
8:50	9:10		メディアミーティング		大会本部前
9:50	10:40	0:50	レース1	7部+女子	特設コース
10:45	11:35	0:50	レース2	5部+6部	//
11:35	12:20	0:45	休憩・開始式 5部、6部、7部、女子 表彰式		大会本部表彰会場前
12:20	12:45	0:25	試 走(2)		特設コース
12:50	13:50	1:00	レース3	3部+4部	//
13:55	14:55	1:00	レース4	1部+2部	//
15:10	15:25	0:15	1部、2部、3部、4部 表彰式		大会本部表彰会場前
15:25	15:35	0:10	競技役員クローズドミーティング		大会本部表彰会場前
15:35			大会本部撤収開始		

2. 競技内容

- ・競技種目 : 【ロード・レース】(クリテリウム)
- ・競技規則 : 最新版 JCF 競技規則および本大会特別規則による
- ・レース・コース: 愛媛県総合運動公園特設コース(1周 1.98km) 図1.参照
- ・競走距離 :

種 別	距 離	周回数	
男子1部	31.7km	16周	同時出走
男子2部	31.7km	16周	
男子3部	25.7km	13周	同時出走
男子4部	25.7km	13周	
男子5部	21.8km	11周	同時出走
男子6部	21.8km	11周	
男子7部	15.8km	8周	同時出走
女子	15.8km	8周	

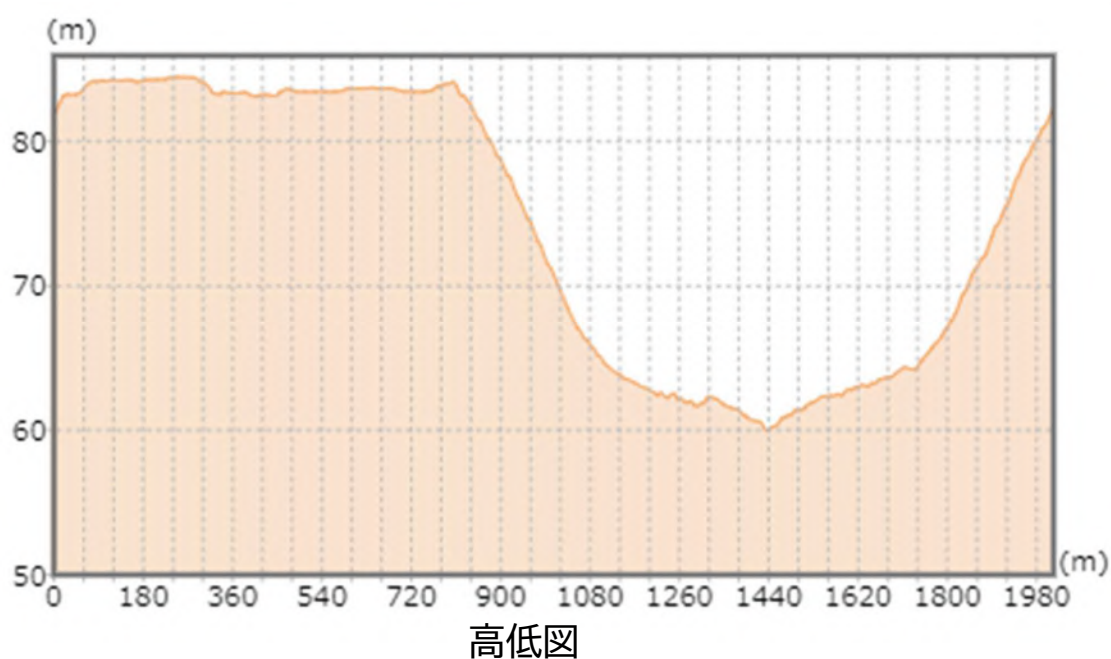
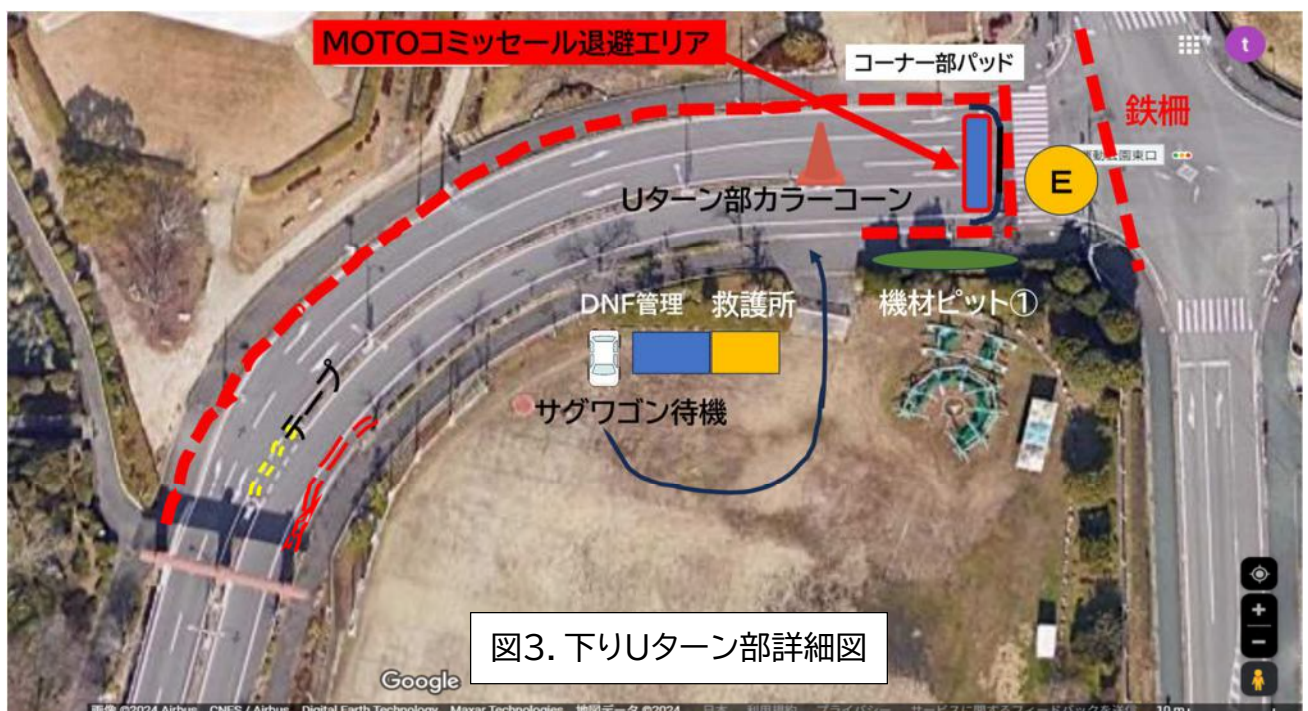


図1. 日本スポーツマスターズ2025愛媛大会 自転車競技会【ロード・レース】コース図

3. コミッセル

レースディレクター : 松浦 正史
 プレジデントオブコミッセル : 松倉 信裕
 セーフティマネージャー : 松隈 廉
 コミッセルパネル : 松倉 信裕、河田 拓也、高畑 秀規

4. 会 場(大会本部詳細図、全体図)





5. 会場までのルート・駐車場について

- ・選手・監督・競技役員は愛媛県総合運動公園 東駐車場を選手村として使用してください(選手・監督・競技役員駐車場)。会場内での TENT 張り、ローラー台の使用は可です。
- ・9月6日(土)は、西側、東側両方のゲートが開門しているのでどちらからでも入場できます。退場の時には別途発行する駐車証を出口ゲートで提示することで無料となります。
- ・大会当日は、コース設営で道路が閉鎖されるため、臨時に開門する選手・監督・競技役員駐車場入り口より入退場ください。入退場時には駐車証を同じく提示してください。松山IC付近からの案内図を図5～6に示します。
- ・観客の方は選手村には入場できません。西側入り口から入場し、動物園駐車場に止めてください(駐車料金が300円必要です 2輪車は無料)。(図7)



図5. 9月6日(土) 選手・監督・競技役員駐車場へのルート



図6. 観客用駐車場へのルート (動物園駐車場を使用してください)

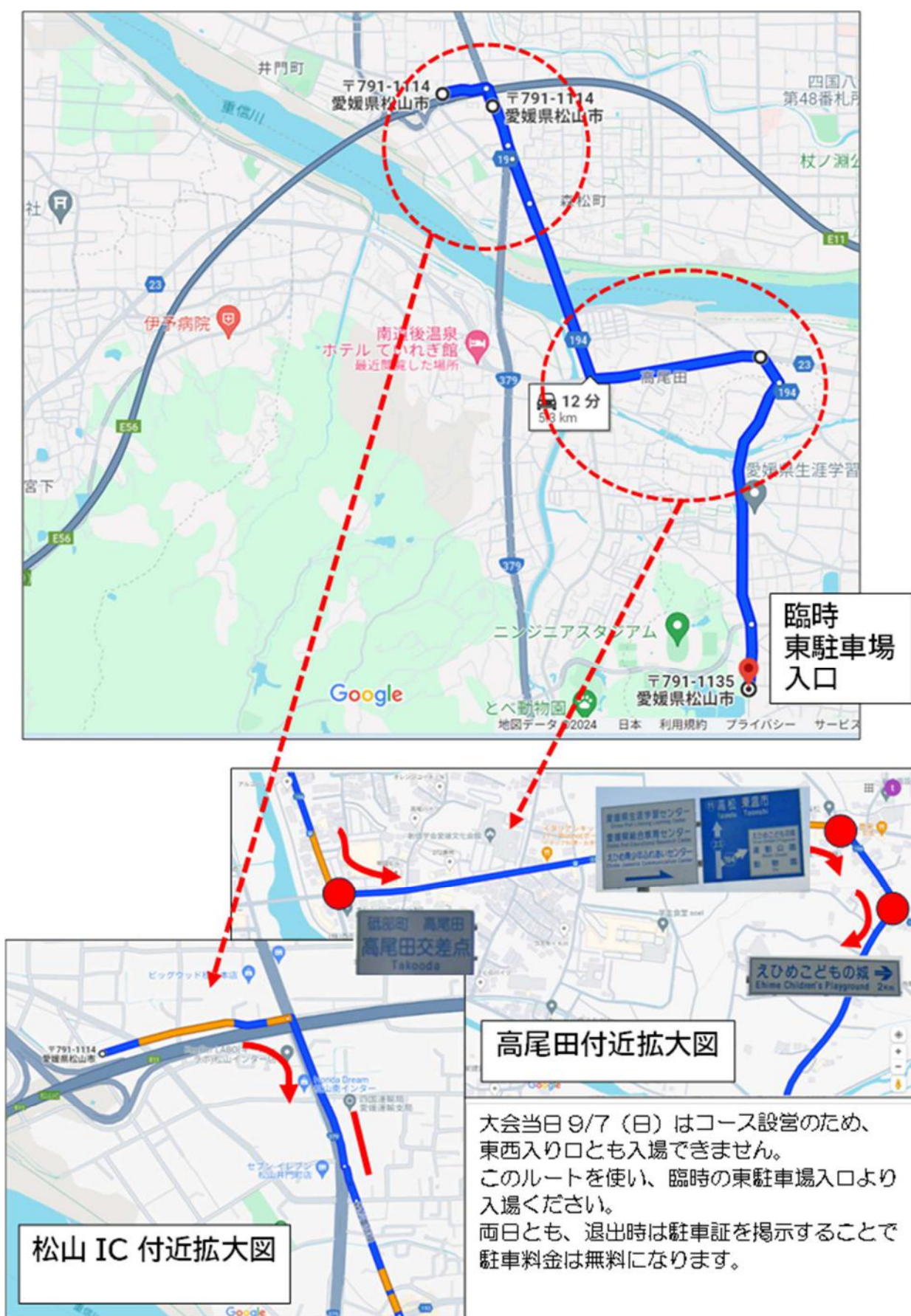


図7. 9月7日(日)選手・監督・競技役員駐車場へのルート(松山 IC 付近から)

6. コースの要注意箇所

コース上の要注意箇所について下記に示します。

(1) マーシャルポイントE付近、下りからの登り返しUターン箇所：(図8.)

下りでスピードが上がった後、減速してのUターン箇所となります。急激な減速や無理なコース取りなど行わないよう十分に注意をして走行してください。

(2) マーシャルポイントD付近、競技場出口の左コーナー：(図9. 図10)

陸上競技場出口で下りに向かって鋭角なコーナーで左折する箇所です。加えて歩道の段差やマンホールがあるので無理なコーナーワークは避けて走行してください。

(3) マーシャルポイントDからAの区間での点字ブロック：(図9. 図11. 図12)

点字ブロックが1列存在します。前日もしくは試走時に確認し、進入角度に注意して走行してください。

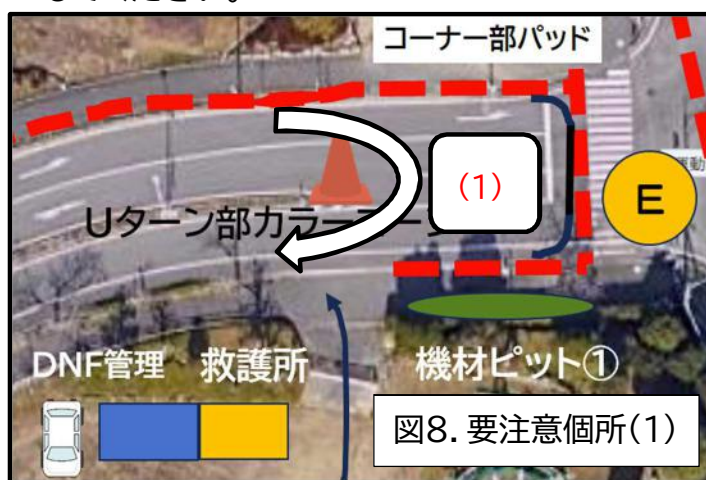


図8. 要注意箇所(1)

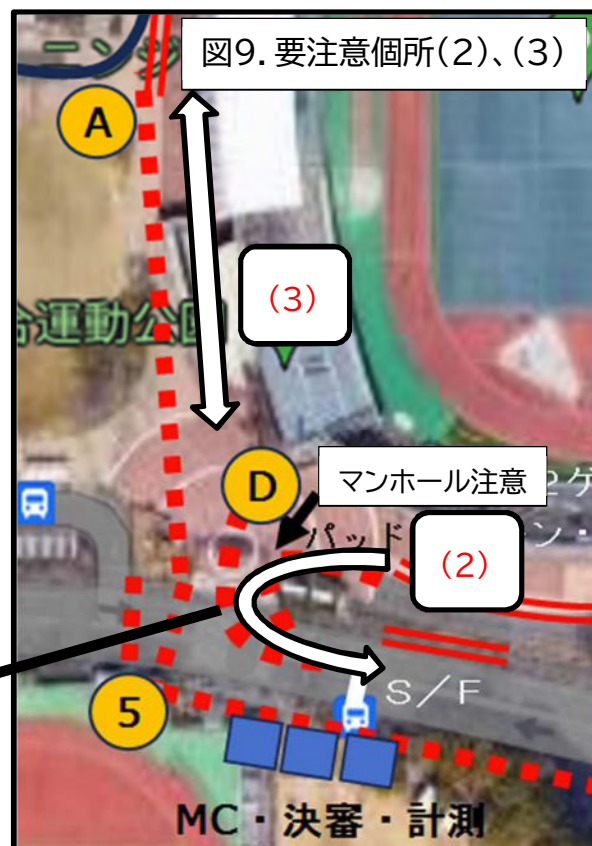
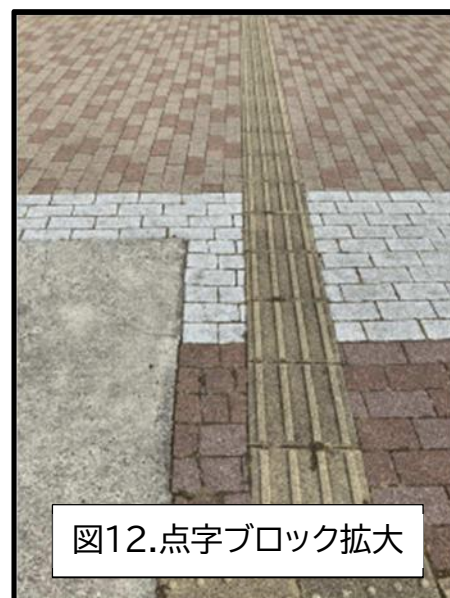


図9. 要注意箇所(2)、(3)



7. デビエーション

- (1) 図2. 大会本部詳細図の、コースアウト・DNF管理のルートを使用してください。
- (2) 選手と交錯の危険性がある場合は、マーシャルポイントEの柵前で停止し退避した後、安全を確認し、(1)のルートでコースアウトを行ってください(図3. 参照)。

8. その他連絡事項

(1) コースの試走について:

- ・9月6日(土)については、コースの試走(公式練習)はありません。
- ・コースの登り下り部については、一般公道ですので、交通規則に則り十分に安全を確保しての通行は可能です。公園内は他のイベント、使用者もおられますので十分に注意してください。また、途中で横断歩道もありますので重ねて、接触事故の無いように注意してください。陸上競技場の周囲は自転車通行不可です。
- ・会場内での、車道においては自動車との、歩道区間においては歩行者との接触事故のないよう充分注意してください。歩道区間の自転車での走行においては、歩行者と同等程度以下の速度(概ね時速5km以下)としてください。
- ・下り箇所にある料金所(図4. 大会会場全体図参照)では、車との分離のためフェンスが設置されています。自転車は“バイク出口”を通行してください。加えてこの幅は自転車1台分しかありませんので、減速することに加え、後方者への合図を行い、かつ複数台で進入することのないよう、フェンスへの衝突にも注意して通行してください(図13.)。

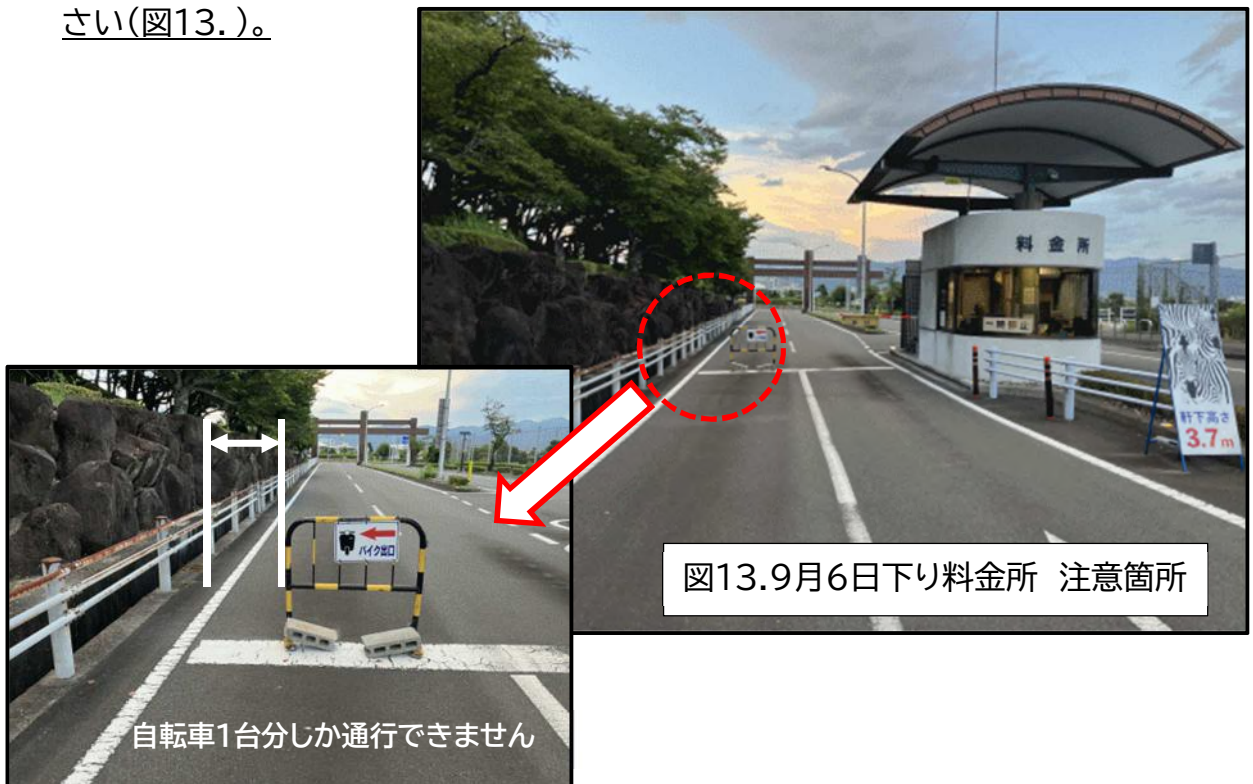
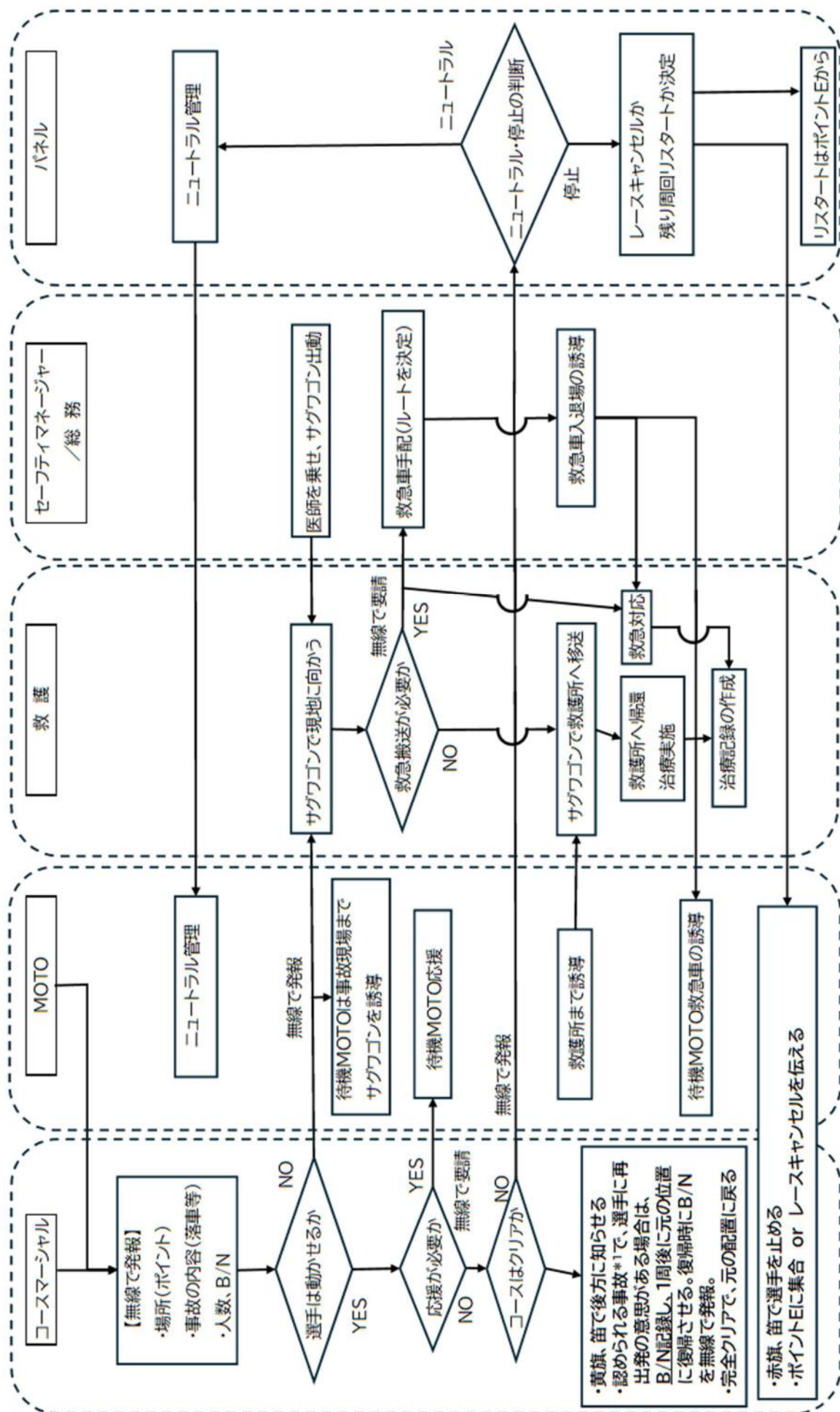


図13.9月6日下り料金所 注意箇所

- ・9月7日(日)においては、スケジュールの通り2回のコース試走の時間を設定しています。コースイン・アウトとも、残り300m付近マーシャルポイント2からとなります。いずれも終了時間10分前を過ぎてからのコースインは禁止とします。
- ・コース試走時には、MOTOコミッセールの2輪車も併走する場合があります。お互いに注意して走行してください。

- (2)更衣室・シャワールーム・休憩所の設置について:(9月7日(日)大会当日のみ)
- ・愛媛県総合運動公園体育館1F 内に更衣室・シャワールーム・休憩所を、テニスコートクラブハウス内に更衣室・シャワールーム(9:00~16:00)を設置しております。
 - ・体育館においては、1F 部分のみの使用許可しか取っておりませんので、2F への立ち入りはご遠慮願います。また、館内は土足厳禁です。備え付けのスリッパをご利用ください。
 - ・使用できる休憩所は、体育館内と会議室、研修室で(休憩所表示があります)、会議室および研修室ではクーラーが使用できます。
- (3)メカニックブース:
- ・地元自転車店によるメカニックブースを大会当日に大会本部横に設置しております。ご活用ください。
- (4)救護体制について:
- ・大会当日は、ポイント E 付近において、医師1名・看護師1名の救護所を設けます。
 - ・大会前日や当日の外来については、大会プログラムに記載の“医療救護について”のページに医療機関の案内があります。加えて当番医の情報について、コミュニケーションボードまたは大会本部受付に掲示いたします。
 - ・次ページに事故時の対応について記載します。
- (5)ゴミのお持ち帰りについて:
- ・会場は公園施設内です。環境美化の観点からゴミの投棄等は謹んで下さい。また、大変恐縮ですが、ご自身のゴミ等は責任をもってお持ち帰って頂けますようお願いいたします。

日本スポーツマスターズ2025愛媛大会 自転車競技会 事故発生時の行動について



7. 大会特別規則

Part1 General Aspects / 第1部 総務事項

ARTICLE 1. / 第1条 レース・ナンバー

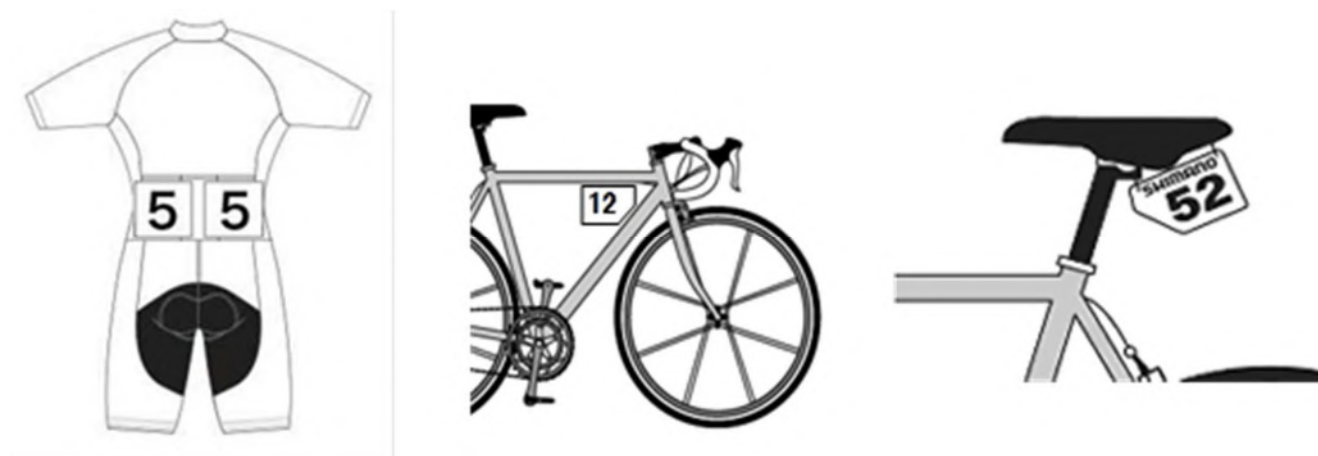
本大会のレース・ナンバーは次のとおりとする。

開始番号	終了番号	種 別	色
101	114	男子1部	白地/黒文字
201	207	男子2部	黄地/黒文字
301	311	男子3部	白地/黒文字
401	414	男子4部	黄地/黒文字
501	514	男子5部	白地/黒文字
601	614	男子6部	黄地/黒文字
701	716	男子7部	白地/黒文字
801	802	女子	黄地/黒文字

ボディ・ナンバー2枚を腰に5cm 以上の間隔を空けて、縦向きに装着すること。

フレーム・ナンバー1枚を、「フレーム前方三角部の右側」もしくは「サドル下」か「シートポスト」に取り付けること。

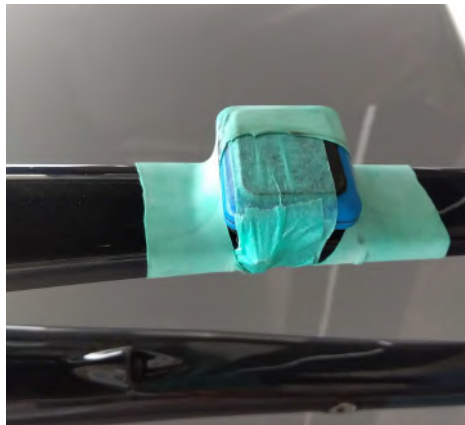
ライセンスコントロールでレース・ナンバーを配布後、紛失・汚染等した場合はペナルティー(1,000 円)を課した上で再配布する。



本大会においては、競技運営を計測タグによって行う。計測用チップの取り付けは次ページの取り付け方法に則って行うこと。競技終了後は大会本部受付まで計測タグを返却のこと。返却無き場合は実費請求を申し受けます。

計測タグの上にカバー(チューブ)を取り付ける方へ

- ・カバーは傷がつくと破れやすくなります。
- ・レース中に脱落する恐れがあるので、計測タグは必ずビニールテープ等で巻くつけて固定してください。
- ・タイヤラップで固定する場合、余分な所をニッパーで切断しますが、切断面でカバーに傷がつく場合がたまやすくなるので、注意して取り付けてください。



テープで固定する前に計測タグの向きを再確認して下さい。

計測タグが縦向き
(フィニッシュで反応しません。)



計測タグが横向き



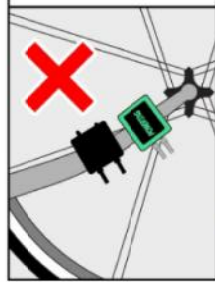
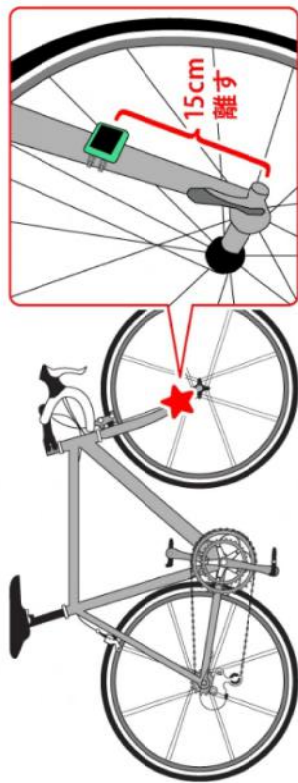
計測タグ取り付け方法

- ・計測タグが付いていないとタイムが記録されません。

※所定の位置にしっかりと固定して落とさないようご注意ください。

取り付け方法

計測タグを「フロントホーク」に取り付けてください(左右どちらでも可)。
下図の★の位置に、タイヤラップで固定して取り付けてください。



【ご注意】

計測タグは、サイクルコンピュータのセンサーを装着しているホークの反対側に取り付けてください。センサーと計測タグを近くに取付けると、どちらも作動しなくなる場合があります。

取り付けの手順



① タグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイヤラップを通します。



② フロントホークに装着しタイヤラップの細い先端を穴に通して強く引きます。



③ しっかり固定するまでタイヤラップを引き、ずれたりしないか確認します。



④ 固定したら余分なタイヤラップをニッパーなどで切り取ってください。

Part2 Technical Aspects / 第2部 競技事項

ARTICLE 1. / 第1条 主催者

日本スポーツマスターズ2025愛媛大会 自転車競技会【ロード・レース】(クリテリウム)は、(公財)日本自転車競技連盟の競技規則の下に、(公財)日本スポーツ協会・愛媛県・(公財)愛媛県スポーツ協会・(公財)日本自転車競技連盟・松山市に主催され、(一社)愛媛県自転車競技連盟により、主幹される。

競技は2025年9月7日(日)に、愛媛県総合運動公園特設コースにおいて開催される。

ARTICLE 2. / 第2条 参加

この大会は、(公財)日本自転車競技連盟の2025年登録(マスターズ登録)を完了し、所属都道府県自転車競技連盟の承認を得た、大会実施要項に則りエントリーをした競技者が参加できる。

ARTICLE 3. / 第3条 大会本部

大会本部は、図2に記載のエリアとし、9月7日(日)8:00から競技終了30分後まで開設される。

ARTICLE 4. / 第4条 ライセンスコントロールおよびチーム代表者・競技者会議

ライセンスコントロールおよびチーム代表者・競技者会議は、式会議次第および1. スケジュールに記載の通りの場所にて実施される。

ただし、9月7日(日)のライセンスコントロールについては、9月1日(月)17:00 までに下記申請フォームにて申請のあったチーム代表者のみへの対応とする。

<https://forms.gle/AHwQTix1vC5P3P4MA>

チーム代表者・競技者会議は、会場およびリモートによるハイブリッド方式により実施される。ハイブリッド方式の詳細については、JCF ホームページで後日告知される。

参加都道府県チームの代表者(監督もしくは選手代表)は現地もしくはリモートでの参加を必須とする。チーム代表者・競技者会議に出席しなかった都道府県については、ペナルティーとして 5,000 円を徴収する。

ARTICLE 5. / 第5条 招集・スタート

(1)検車・出走サイン :各自スタート10分前までに完了しておくこと。

(2)スタート :スタート時刻10分前からコミッセルの指示に従い、会場図2に示すマーシャルポイント2付近のスタートエリアに集合する。
複数種別同時出走の場合は、年齢区分が若い種別が先に並ぶ。
種別の境にはコーン・バーにて一時的に分離を行う。

ARTICLE 6. / 第6条 ニュートラルサポート・機材ピット

本大会においては、主催者によるニュートラルサポートは実施しない。但し、会場図1、マーシャルポイント B および E 付近のコース外に機材ピットを設置する。フレームを除く機材の交換を付近のコミッセルに申告のうえ、実施を許可する。機材の提供についてはチー

ムを越えたサポートも許可する。

ARTICLE 7. / 第7条 飲料水の補給

図4. 大会会場全体図、残り100m手前に補給所を設ける(約 40m)。

補給は4周回完了後(残り5周手前 約 9.9km)から残り1周手前(残り2.1km)までの区間で認める。

補給要員は、チーム代表者・競技者会議で配布する補給員 ID カードを着用の上、補給をおこなうこと。IDカードは、混走時の選手数に応じて各都道府県に最大 3 枚配布する。

チーム代表者・競技者会議にリモートで参加した都道府県チームには翌日、大会本部で配布する。

IDカードケースについては、各チームで準備のこと(はがきサイズ)。

ARTICLE 8. / 第8条 環境への影響

本大会におけるグリーンゾーンは補給所内および機材ピットエリアとする。競技者はボトル、ゴミなどをその他のコース上で投棄してはならない。

ARTICLE 9. / 第9条 スタート方式

ローリングスタート方式とする。フィニッシュゲートを越え、隊列が整ったとコミッセルが判断した地点で先導 MOTO の合図により正式スタートとする。ローリング中の事故による正式スタートの延期は原則として行わない。但し複数の競技者が関係する落車等の事故が起きた場合は協議の上決定する。

競技の開始時刻は、ローリング中の先頭の競技者がフィニッシュゲートを通過した時刻とする。

ARTICLE 10. / 第10条 順位付け

順位付けは要項記載の年齢種別毎に行う

2以上の年齢種別が同時スタートとして統合される場合、同時スタートの種別内では異なる種別であっても、集団走行・追走を認める。但し、順位付けおよび表彰は各種別ごとに行う。

周回遅れによる除外の判断は、統合された種別全体で行う。すなわちたとえば、1部+2部のレースにおいて、先頭競技者が1部の選手の場合、この選手に対して周回遅れとなる2部の選手は除外されることを原則とする。

周回遅れによる除外の判断は、種別毎の残存人員等を考慮してコミッセルが緩和する場合がある。

自ら棄権(ABD)ではなく、除外となり規定周回数を完走できなかった競技者については、タイムアウトになる直前のフィニッシュライン通過時間に応じて順位付けをされる場合がある。

ARTICLE 11. / 第11条 除外

原則先頭競技者より1周回遅れた、もしくは遅れることが明らかな競技者は競技から除外される。コミッセルから除外を宣告された競技者はマーシャルポイント2付近のコースア

ウトルートからコースを離れ、選手村へと戻ること。

ARTICLE 12. / 第12条 競技終了後の導線

フィニッシュゲートを通過し競走が終了した競技者は、そのままコースを順方向に走行し、マーシャルポイント2付近のコースアウトルートからコースを離れ、選手村へと戻ること(クールダウン距離約 1.7km)。

ARTICLE 13. / 第13条 ペナルティ

ペナルティはJCF競技規則に準ずる。

ARTICLE 14. / 第14条 ニュートラリゼーション

落車、パンク等認められる事故に遭った競技者で、当該事故がコミッセルに認められた場合、1周回のニュートラリゼーションを認める。復帰にあたってはコミッセルの指示に従うこと(事故時に位置していた同じ位置に復帰すること)。

先頭が残り4周回のフィニッシュゲートを通過した後は、ニュートラリゼーションは与えられない。

最終周回に認められる事故に遭った場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。

ARTICLE 15. / 第15条 表彰

各種別の第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品および賞状を授与する。

表彰は大会本部内表彰会場にて行われる。表彰対象競技者は、コミュニケーションボードで順位を確認後、速やかに表彰会場に集合のこと。

表彰式参加にあたっての服装は、レースジャージもしくは所属都道府県ジャージを着用すること。帽子、サングラスの着用およびサンダルでの参加は慎むこと(不可)。

ARTICLE 16. / 第16条 装備

本大会では、自転車・ヘルメット等に設置できるカメラ等記録媒体の設置は許可しない。

ARTICLE 17. / 第17条 競技の中断・キャンセルについて

参加者の安全を考慮し、雷雨等の急激な天候の変化が予測される場合や、気温上昇の恐れが予測される場合は、競技前、競技中とも競走距離の変更、競技の中断を行う場合がある。

落車等によりコースが閉鎖されたり、救急搬送が必要となった時などにおいても、競技の中断、ニュートラル走行等をコミッセルが指示する場合がある。

再スタート、キャンセル、競技成立の判断は主催者およびコミッセルの判断・指示に従うこと。